

日農モスピラン粒剤

[アセタミプリド粒剤]

農林水産省登録 第19115号

有効成分 アセタミプリド…2.0%

性状 淡灰色細粒

安全性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称） 危険物：- 有効年限：5年 包装：1kg×12、3kg×6 RACコード：殺虫[4A]

特長

- ネオニコチノイド系の殺虫剤である。
- 浸透移行性に優れる。

効果、薬害等に関する注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきる。
- キャベツ、ブロッコリー、非結球あぶらな科葉菜類、セルリーに使用する場合は、薬害発生のおそれがあるので使用量を厳守し、根に直接ふれぬよう、施用後土壌とよく混和してから植え付ける。
- かんきつに用いる場合は、今期に収穫見込みのない苗木に対して株元処理し、処理後は軽く散水する。なお、本剤を処理してから効果を発揮するまでにある程度期間を要するため、対象害虫の発生前に予防的に処理する。
- かぼちゃに対して、は種時に播溝土壌混和で使用する場合は、栽植密度に合わせ播溝に株当たり1gに相当する量を均一に施用した後土壌混和する。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用する。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

安全使用上の注意事項

- 本剤の中毒に対しては、動物実験で ϵ -メチオニン製剤、グリチルリチン製剤及びグルタチオン製剤の注射投与が有効であると報告もある。
- 使用の際は農薬用マスクなどを着用する。作業後はうがいをする。
- 街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払う。

水産動植物に対する注意事項

- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用する。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さない。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

適用内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
ぶどう	ブドウネアブラムシ	30g/m ² (但し6kg/10a以下)	収穫14日前まで	3回以内	樹冠下または主幹周辺に散布	3回以内
かんきつ (苗木)	ミカンハモグリガ アブラムシ類	10~20g/樹	育苗期	1回	株元散布	1回
キャベツ	コナガ アオムシ	1~2g/株	定植時		植穴土壌混和	6回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計5回以内)
	コナガ アオムシ アブラムシ類	0.5~1g/株	定植前日~定植当日		株元散布	
	ハイマダラノメイガ ハスモンヨトウ	0.5g/株			植穴土壌混和	
	アブラムシ類	1g/株 1~2g/株	定植時			
はくさい	コナガ アオムシ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	0.5g/株	定植前日~定植当日		株元散布	4回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計3回以内)
	コナガ アオムシ アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
ブロッコリー	ハイマダラノメイガ	0.5g/株	定植前日~定植当日		株元散布	
	コナガ アオムシ アブラムシ類	0.5~1g/株				
	アオムシ アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	コナガ	1~2g/株				
カリフラワー	コナガ アオムシ	0.5~1g/株	定植前日~定植当日		株元散布	4回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類		定植当日			
非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く) だいこん	コナガ アブラムシ類	3kg/10a	は種時	播溝土壌混和	1回	
チンゲンサイ	コナガ アブラムシ類 アオムシ	0.5g/株	定植前日~定植当日	株元散布	2回以内(粒剤の処理は1回以内、散布は1回以内)	
	キスジノミハムシ		定植当日			
ひこしまはるな	アブラムシ類	1g/株	定植時	植穴土壌混和	1回	
非結球メキャベツ	ハイマダラノメイガ				3回以内(土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	
きゅうり	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時	1回	株元散布	5回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、2%粒剤の定植後の株元散布は1回以内、散布、くん煙及び1%粒剤の株元散布は合計3回以内)	
		0.5g/株	定植後、但し収穫30日前まで				
1g/株		定植時	植穴土壌混和		4回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回以内)		
		は種時					播溝土壌混和
とうがらし類(ししとうを除く)		0.5g/株	定植時		植穴土壌混和		
ししとう		コガネムシ類幼虫					1g/株
ピーマン	アブラムシ類	0.5g/株		定植前日~定植当日		株元散布	3回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計2回以内)
	アブラムシ類 コナジラミ類						
なす	コナジラミ類	0.5~1g/株	定植時	植穴土壌混和	4回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回以内)		
	アブラムシ類	0.5g/株					
	ミナミキイロアザミウマ コガネムシ類幼虫	0.5~1g/株					
トマト ミニトマト	コナジラミ類	1g/株	定植前日~定植当日	株元散布	4回以内(粒剤の定植時までの処理は1回以内、散布、くん煙及び定植後の株元散布は合計3回以内)		
	コナジラミ類 トマトハモグリバエ アブラムシ類		定植時			植穴土壌混和	
	いちご	アブラムシ類	0.5g/株	生育期 但し、収穫前日まで			株元散布
0.5~1g/株			定植時	1回			
		コナジラミ類 コガネムシ類幼虫	1g/株		定植時	植穴土壌混和	
レタス	ナモグリバエ オオタバコガ ヨトウムシ	0.5g/株	定植前日~定植当日	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は3回以内)		
	アブラムシ類	0.25~0.5g/株					

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	
非結球レタス	アブラムシ類	0.25～0.5g/株	定植前日～定植当日	1回	株元散布	2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)	
	ナモグリバエ オオタバコガ ヨトウムシ	0.5g/株					
わけぎ あさつき	ネギアザミウマ ネギハモグリバエ	6kg/10a	は種時		播溝土壌混和	4回以内(土壌混和は1回以内、散布は3回以内)	
			植付時		植溝土壌混和		
ねぎ		0.25～0.5g/株	定植前日～定植当日		株元散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)	
		6kg/10a	は種時		播溝土壌混和		
			植付時		植溝土壌混和		
えだまめ		アブラムシ類	3kg/10a		は種時	播溝土壌混和	4回以内(は種時または定植時の土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
			1g/株		定植時	植穴土壌混和	
ふき		コナジラミ類 モモアカアブラムシ	2g/株		収穫90日前まで	株元散布	3回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
セルリー		アブラムシ類 ナモグリバエ	0.5g/株		定植時	植穴土壌混和	2回以内(定植時の土壌混和は1回以内)
ばれいしょ		アブラムシ類	3～6kg/10a		植付時	植溝土壌混和	4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
さといも							
こんにゃく		ワタアブラムシ	3kg/10a		培土時(出芽期)	株元土壌混和	1回
ストック		ハイマダラノメイガ	0.5g/株	育苗期	株元散布	5回以内	
きく		アブラムシ類	0.5～1g/株	生育初期			
	アザミウマ類	1g/株					
	ハモグリバエ類		定植時	植穴土壌混和			
	ミカンキイロアザミウマ			植溝土壌混和			
つつじ類	ツツジゲンバイ	3～6kg/10a	発生初期	株元散布	5回以内(樹幹注入は1回以内)		
たばこ	アブラムシ類	0.5～1g/株	定植時		3回以内(定植後は2回以内)		
		0.25g/株	育苗期後半				

製品写真



最新の登録内容はこちら

